

令和4年度 第3回 佐鳴台中学校運営協議会 会議録(要点記録)

- 1 開催日時 令和5年2月17日（金） 14時 から 15時30分
- 2 開催場所 佐鳴台中学校 会議室
- 3 出席委員 栗田 高典 大塚 幸作 中野 昭良
 大屋 久美子 西尾 千明 安永 真智子
- 4 欠席委員 橋本 博行 中条 操 嶋津 歌絵
- 5 オブザーバー 北村 元幸
- 6 学校支援コーディネーター 中野 昭良
- 7 学 校 守屋 謙一郎（校長） 仲村 篤志（教務）
 城本 絵美（CS ディレクター）
- 8 傍聴者 なし
- 9 協議事項

- (1) 学校関係者評価について
- (2) 令和5年度の方向性について
- (3) 学校運営協議会自己評価について
- (4) 令和5年度のCSの方向性について
- (5) その他
 - ・ 夢育やらまいか CS 加算分の報告
 - ・ 外国人支援について

- 10 会議記録作成者 CS ディレクター 城本 絵美

11 会議記録

司会の教務から、委員総数9人のうち6人の出席があり、過半数に達しているため会議が成立している旨の報告があった。また議長の選出について会長を推挙する旨の説明があり、全員異議なくこれを承認した。

(1) 学校関係者評価について

議長の指示により、教務から別紙資料に基づき学校関係者評価について説明があり、委員からは以下の発言があった。

- ・ 保護者アンケートの「学校は子どもに応じた学習の手助けを行っていると思いますか」の質問に対して保護者の評価が少し厳しいのが気になった。学習風景を見る機会が少なく、保護者は期待を込めているのではないか。（栗田委員）

- 子どもたちにもう少し頑張ってもらいたいという思いから厳しい意見もある。対して子供たちのアンケート結果の評価は保護者に比べて高い。来年度からは複線型を取り入れていき、子どもたちがどういう考えを持ち、どういう方法で行っていくのか、自分自身で決断していくような形を進めていく。自分で選択できるような授業展開を行い、これに応じた手助けを教員が行っていく。(校長)
- ・ 3年生全国学力テストの結果が平均点を下回ったのには何か原因があるのか。(西尾委員)
- 読解力、新しい問題が苦手な傾向がある。来年度はその点も踏まえ、授業改善を進める。(校長)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(2) 令和5年度の方向性について

議長の指示により、校長から別紙資料に基づき令和5年度の方向性について説明があり、委員からは以下の発言があった。

- ・ 不登校の人数はどのくらいいるのか。もう少し学校内のことを知った上で議論し、この運営協議会で改善できることを話し合いたい。(大屋委員)
- ・ どの学校も教員数が足りない。講師も頼めないのが現状。(中野委員)
- ・ 面接練習など地域の方にもっと協力してもらえるとよい。(校長)
- ・ 学校側から具体的な課題を出してもらい、もっとアイデアを出し合えたらいいと思う。(栗田委員)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(3) 学校運営協議会自己評価について

議長から別紙資料に基づき令和5年度の方向性についての説明があった。

(4) 令和5年度のCSの方向性について

議長の指示により、教務から令和5年度のCSの方向性について説明があり、委員からは以下の発言があった。

- ・ 運営協議会ではどこまで意見を出していいのか。学校の現状を分かっている人がどんなふうに変更を促していきたいかを意見すべき。CSがもっと有効になるのでは？(大屋委員)
- 3年後を見据えていい方がいいれば推薦してほしい。(教務)
- ・ 課題に合った地域の方をお呼びしてもっと議論出来たらよいと思う。(栗田委員)
 - ・ 一人一人を大切に作る体制づくりを強化していく。(教務)
- 佐鳴台中の問題を具体的に取り出し、意見してもらうことは来年度の課題である。現在では外国人生徒の学力保障や人間関係トラブル等の点から支援の在り方を検討いただきたい。(校長)

(5) その他

○夢育やらまいかCS加算分の報告

議長の指示により、教務から別紙資料に基づき夢育やらまいかCS加算分の報告があった。

○外国人支援員について

実際に外国人の授業の様子を見てもらい、運営協議会の意見として出していくことが来年度の課題。(教務)

全員異議なくこれを承認した。

その他報告事項等

司会の教務から、来年度の会議は①令和5年6月16日(金) ②令和5年10月20日(金)
③令和6年2月22日(木)(仮)佐鳴台中学校会議室で開催する旨の報告があった。